

伊豆ヶ岳(851m)山行報告



【山行日】 2015年11月 23(日) 曇り

【集 合】 岩舟支所P AM 7:00

【費 用】 マイカー1台 : 1,800円

【メンバー】 CL:鈴木、石川、大西、香川、
島田、関、藤原、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P7:00＝正丸駅
P8:35/8:50～正丸峠分岐 9:20～伊豆ヶ岳
10:40/10:50～高畑山 11:50/12:25～天目指峠
13:10～子ノ権現 14:15/14:30～西吾野 15:30＝
岩舟支所 P15:20

雲取山山行に向けてのトレーニング山行を

兼ねて、伊豆ヶ岳から子の権現までのロングコースを計画した。

正丸駅の駐車場に車を置き、トイレとストレッチを済ませて出発する。

駅の改札に向かって左に階段を降り、西武線のガードをくぐる。沢沿いに舗装道を登って行くと、日本の山村の原風景が残る集落を抜け、馬頭観音がある所を左に進む。ここからは沢沿いの山道になり、薄暗いスギ林の中を登って行く。途中、小高山から長岩峠への道を右に分け、そのまま沢沿いに直進する。沢の水が無くなるころ右に急坂を登り、さらに泣き坂と呼ばれる急坂をロープを伝って登ると小さな尾根に出て小休止する。ここから右に進み、少し登ると展望が開け五輪山に出て正丸峠からの道



と合わさる。山頂は広くベンチがあり、休憩をとってリンゴや菓子で水分とエネルギーを補給する。ここから南に少し下り登り返すと男坂だが、男坂・女坂ともに落石や崩落で通行禁止になっており、西側を巻いて中間道を登る。急坂を登りきると岩尾根に出て、右に少し登ると伊豆ヶ岳山頂に着く。山頂では高崎の山岳会グループが記念写真を撮っており、終わるのを待って我々も記念写真を撮る。山頂は狭いので少し先の岩場で休憩をとり、カステラやミカンを食べ展望を楽しむ。ここから南に急坂

を下りて行くが、カエデの紅葉が見頃で紅葉をたのしみながら降りて行く。

登り返したところが古御岳で、雑木林に囲まれた明るいピークで東屋がある。杉林の尾根道を、ア

アップダウンを繰り返しながらたどり、ベンチがある高畑山山頂に着く。先客がベンチを使っているので我々は陽だまりに腰をおろし昼食を食べる。温かいすいとん汁はおにぎりと共に、おひたしや漬物などと美味しくいただいた。高畑山からさらに尾根道をたどり、中ノ沢ノ頭で大きく左に曲がり天目指峠へ降りて行く。林道を横切り、向かい側の急斜面を登って尾根に出て、小さなアップダウンを繰り返して進むと子の権現に着く。千年以上の歴史を持ち、鉄の大わらじがある子の権現は足腰の



神様として参拝者が多い。皆で「足腰が丈夫で登山が続けられますように。」とお願いし寺をあとにする。茶屋の先から階段を降りて近道し、舗装道を300mほど歩いて右側の山道に入り西吾野駅に向かう。

ここから我輩が快足を飛ばして先行し、西吾野駅から電車に乗って正丸駅まで行き車を回収する。皆さんを国道299号に出た所にある、ゆず直売所で車に乗せ岩舟支所に向かった。

今回も圏央道の菖蒲SAに寄り、無事岩舟支

所に帰着した。

